

ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

■新型コロナウイルスワクチン接種を実施しました
 ……4億777万8千円
 令和3年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施しました。令和4年度は集団接種を36回開催し、集団接種による接種件数は6,706件、個別接種による接種件数は50,999件でした。



■緊急自然災害防止対策事業を実施しました
 ……2,178万1千円
 台風などによる自然災害の防止のため、大谷川の護岸整備工事や学文路地域における浸水対策工事、ポンプ場築造工事を行いました。

■原田文化センターの大規模改修を行いました
 ……3,498万9千円
 建築から30年が経過していた原田文化センターについて、陸屋根の防水や外壁の塗装など、施設を長寿命化するための大規模改修工事を行いました。

■防犯カメラ設置補助金事業を実施しました
 ……32万7千円
 地域住民の安全確保と犯罪抑止のため、防犯カメラを設置しようとする区・自治会に対して、補助金を交付しました。

■SDGs交付金事業を行いました
 ……5,729万9千円
 住民自治の振興と市民協働によるまちづくりを推進するために、市内の区・自治会を対象に、持続可能な地域コミュニティ発展のための交付金を交付しました。

■防災対策指針策定事業を実施しました
 ……1,438万8千円
 各種防災マニュアルに新型コロナウイルスなどの感染症の流行期における対応を盛り込み、避難所開設時など本市で想定される災害に備え、慌てず適切に行動できるようマニュアルの更新を行いました。
 また、本市における10年先を見据えた災害情報伝達の在るべき姿を検討し、「橋本市災害情報伝達基本方針」を取りまとめました。

■消防庁舎防災機能強化緊急整備工事を行いました
 ……4,808万2千円
 災害時の消防庁舎機能確保のため、浸水対策および感染症対策に必要な整備工事を行いました。電気設備などの上層階への移設と高上げなどを実施し、消防庁舎の防災機能強化を図りました。



橋本消防署

令和4年度に実施した主な事業

ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

■ふるさと橋本応援寄附金（歳入）
 ……4億9,118万2千円
 市の魅力や地域産品を全国にアピールし、ふるさと納税による歳入の確保に取り組みました。令和4年度は、関東を中心に全国から40,319件（前年比139%）のふるさと納税をいただきました。



▲橋本市の特産品（ぶどう・柿）

■転入夫婦に新築住宅取得補助金を交付しました
 ……900万円
 子育て世代の転入を増やし、人口の増加を図るため、新築住宅を取得して転入する40歳未満の夫婦に対して補助金の交付を行いました。令和4年度では、96人がこの補助金を受けて転入しました。

■地域産品のブランド化を推進しました
 ……1,238万6千円
 地域産品のブランド化を進めるとともに、販路の開拓・拡大を支援するため、新商品開発や販路開拓を行う事業者に対して補助金を交付しました。
 また、首都圏の飲食店へ本市産品を提案し、提供する料理に使用してもらうなどのPR活動を行いました。

■サイクルツーリズム観光活性化プロジェクト事業
 ……99万4千円
 橋本市観光振興アドバイザーに委託し、InstagramなどのSNSで橋本市の魅力を発信しました。
 また、令和3年度に作成したサイクリングロードマップの周遊コースに林道コースを新たに追加しました。

■はしもとふるさと便事業
 ……1億817万7千円
 全国のできるだけ多くの人に橋本市産の農産物を購入してもらうために、農産物の配送にかかる送料について補助金を交付しました。

■工業団地造成工事を進めました
 ……1億1,241万3千円
 南海電気鉄道株式会社・和歌山県・橋本市が共同で開発を進めている工業団地「あやの台北部用地」（第1次事業）について、昨年度に続き造成工事を進めました。



橋本市の財政指標

財政状況を示す財政健全化判断比率（右表）では、いずれも危険信号とはなっていませんが、下記の財政力指数や経常収支比率では、和歌山県内の他市と比べて市税など自力で得る収入が少なく、お金の使い道の自由度が低くなっています。

財政力指数 0.448
 標準的な行政サービスを行うためのお金を自ら賄える割合
 （数値が高いほど財政に余裕がある）

経常収支比率 99.3%
 市税など経常的に入るお金が借金の返済など義務的な経費に充てられる割合
 （数値が高いほど財政にゆとりがない）

県下9市中
6位
平均0.507

県下9市中
7位
平均95.4%

財政健全化判断比率

指標	内容	橋本市	危険信号	早期健全化基準 ^(※)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし		12.67%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし		17.67%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	12.7%		25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	49.3%		350%

※この基準を超えると、健全化計画を作成し、財政状況の立て直しに取り組む必要があります。

一般会計の決算状況

収入	301億5,677万円	支出	291億4,109万円
----	-------------	----	-------------

公営企業会計の決算状況

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計

会計名	収入	支出	差し引き	
水道	収益的収支	18.8億円	17.0億円	1.8億円
	資本的収支	0.5億円	4.4億円	△3.9億円
下水道	収益的収支	17.3億円	16.9億円	0.4億円
	資本的収支	12.0億円	15.5億円	△3.5億円
病院	収益的収支	85.9億円	84.0億円	1.9億円
	資本的収支	9.0億円	11.2億円	△2.2億円

特別会計の決算状況

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

会計名	収入	支出	差し引き
国民健康保険	73.1億円	72.3億円	0.8億円
住宅新築資金等貸付	1,023万円	709万円	314万円
駐車場	243万円	201万円	42万円
墓園	3,427万円	3,162万円	265万円
農業集落排水	1.13億円	1.09億円	0.04億円
土地区画整理	2.6億円	2.6億円	0円
介護保険	68.0億円	65.1億円	2.9億円
後期高齢者医療	19.7億円	18.9億円	0.8億円
工業団地造成	11.2億円	11.1億円	0.1億円